

令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

調査結果の要旨 以下、()内は前年度 右は前年度との差

(1) 暴力行為の状況

①発生件数

・ 小学校	181件 (138件)	+43件
・ 中学校	81件 (62件)	+19件
・ 高等学校	41件 (31件)	+10件
合 計	303件 (231件)	+72件

【暴力行為の内訳】

ア 「対教師暴力」

・ 小学校	23件 (25件)	- 2件
・ 中学校	17件 (6件)	+11件
・ 高等学校	3件 (2件)	+ 1件
合 計	43件 (33件)	+10件

イ 「生徒間暴力」

・ 小学校	120件 (80件)	+40件
・ 中学校	53件 (36件)	+17件
・ 高等学校	27件 (22件)	+ 5件
合 計	200件 (138件)	+62件

ウ 「対人暴力」

・ 小学校	4件 (2件)	+ 2件
・ 中学校	1件 (5件)	- 4件
・ 高等学校	0件 (0件)	± 0件
合 計	5件 (7件)	- 2件

エ 「器物損壊」

・ 小学校	34件 (31件)	+ 3件
・ 中学校	10件 (15件)	- 5件
・ 高等学校	11件 (7件)	+ 4件
合 計	55件 (53件)	+ 2件

②発生した学校数

・ 小学校	77校 (63校)	+14校
・ 中学校	37校 (29校)	+ 8校
・ 高等学校	25校 (18校)	+ 7校
合 計	139校 (110校)	+29校

(2) いじめの状況

①認知件数

・ 小学校	2, 718件	(2, 717件)	+	1件
・ 中学校	802件	(722件)	+	80件
・ 高等学校	404件	(388件)	+	16件
・ 特別支援学校	238件	(230件)	+	8件
合 計	4, 162件	(4, 057件)	+	105件

※いじめの認知については、平成28年度調査より、けんかやふざけ合い、暴力行為等についても、児童生徒の感じる被害性に着目し、積極的に認知を行うこととしている。

②認知学校数

・ 小学校	289校	(284校)	+	5校
・ 中学校	149校	(146校)	+	3校
・ 高等学校	75校	(74校)	+	1校
・ 特別支援学校	22校	(21校)	+	1校
合 計	535校	(525校)	+	10校

※高等学校については、全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校としている。

③解消している（日常的に経過観察中）件数の割合

・ 小学校	74%	(76%)
・ 中学校	76%	(76%)
・ 高等学校	75%	(74%)
・ 特別支援学校	67%	(83%)
平 均	74%	(76%)

④いじめの発見のきっかけ（小・中・高・特支）〔認知件数に対する割合〕

・ アンケート調査	1, 536件	[37%]	(1, 667件	[41%])
・ 本人からの訴え	891件	[21%]	(901件	[22%])
・ 当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	861件	[21%]	(763件	[19%])

⑤いじめられた児童生徒の相談状況（小・中・高・特支）〔認知件数に対する割合〕※複数回答

・ 学級担任に相談	3, 211件	[77%]	(3, 200件	[79%])
・ 保護者や家族に相談	1, 301件	[31%]	(965件	[24%])
・ 学級担任以外の教職員に相談	412件	[10%]	(319件	[8%])

⑥いじめの態様〔認知件数に対する割合〕※複数回答

【小学校】

・ 冷やかしやからかい	1, 563件	[58%]	(1, 561件	[57%])
・ 軽い暴力	739件	[27%]	(748件	[28%])
・ 嫌なことをさせられる	417件	[15%]	(418件	[15%])

【中学校】

・ 冷やかしやからかい	511件	[64%]	(394件	[68%])
・ 軽い暴力	127件	[16%]	(108件	[15%])
・ パソコン等で誹謗・中傷	95件	[12%]	(81件	[11%])

【高等学校】

- ・ 冷やかしやからかい 239件〔59%〕（ 238件〔61%〕）
- ・ パソコン等で誹謗・中傷 73件〔18%〕（ 80件〔21%〕）
- ・ 仲間はずれ 55件〔14%〕（ 52件〔13%〕）

【特別支援学校】

- ・ 軽い暴力 77件〔32%〕（ 91件〔40%〕）
- ・ 冷やかしやからかい 68件〔29%〕（ 67件〔29%〕）
- ・ 強い暴力 8件〔3%〕（ 10件〔4%〕）

※いじめの態様のうち、パソコンや携帯電話等を使ったいじめ

- ・ 小学校 33件〔1%〕（ 30件〔1%〕）
 - ・ 中学校 95件〔12%〕（ 81件〔11%〕）
 - ・ 高等学校 73件〔18%〕（ 80件〔21%〕）
 - ・ 特別支援学校 2件〔1%〕（ 2件〔1%〕）
-
- 合計 203件〔5%〕（ 193件〔5%〕）

⑦いじめの日常的な実態把握のための学校の取組の割合（ ）内は前年度調査

取組	小学校	中学校	高等学校	特別支援
アンケート調査の実施	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	92% (92%)
個別面談の実施	57% (50%)	84% (80%)	100% (100%)	46% (62%)
個人ノート等	30% (31%)	95% (90%)	13% (15%)	31% (31%)
家庭訪問	24% (23%)	43% (38%)	9% (13%)	12% (19%)

⑧いじめ防止対策推進法第12条に規定する「地方いじめ防止基本方針」を策定した自治体数

- ・ 市町村 35 (35)

⑨いじめ防止対策推進法第14条第1項に規定する「いじめ問題対策連絡協議会」を設置した自治体数

県	条例による設置ではないが、法の趣旨を踏まえた会議体	1 (1)
市町村	条例による設置	19 (16)
	条例による設置ではないが、法の趣旨を踏まえた会議体	7 (8)

⑩いじめ防止対策推進法及びいじめ防止基本方針に基づき、条例により「重大事態」の調査又は再調査を行うための機関を設置した自治体数

県	教育委員会の附属機関	1 (1)
	地方公共団体の長の附属機関	1 (1)
市町村	教育委員会の附属機関	23 (21)
	地方公共団体の長の附属機関	19 (16)

(3) 小・中学校の長期欠席の状況

①理由別長期欠席児童生徒数 ()内は昨年度の人数

※1年間に30日以上登校しなかった児童生徒の理由別の生徒数

※「新型コロナウイルスの感染回避」は、新型コロナウイルスの感染を回避するため、本人又は保護者の意思で出席しない者、及び医療的ケア児や基礎疾患児で登校すべきでない」と校長が判断した者

※「その他」は「病気」「経済的理由」「不登校」のいずれにも該当しないか、欠席理由が複数あり、主たる理由が特定できない者

	病気	経済的理由	不登校	うち90日以上欠席			新型コロナウイルスの感染回避	その他	合計
				うち90日以上欠席	うち出席日数10日以下	うち出席0日			
小学校	368 (260)	0 (0)	1497 (1284)	745 (588)	127 (106)	39 (37)	302 (478)	454 (254)	2621 (2276)
中学校	421 (197)	0 (0)	2885 (2497)	1845 (1564)	367 (318)	95 (96)	87 (206)	213 (162)	3606 (3062)
計	789 (457)	0 (0)	4382 (3781)	2590 (2152)	494 (424)	134 (133)	389 (684)	667 (416)	6227 (5338)

②全児童生徒数に占める不登校児童生徒数の割合

- ・ 小学校 1.65% (1.38%)
- ・ 中学校 5.85% (4.98%)

※長欠児童生徒数の割合

- ・ 小学校 2.89% (2.44%)
- ・ 中学校 7.31% (6.11%)

③不登校の要因

※主たる要因1つを選択。

※左記に該当なし・・・本人や保護者と話しても、学校、家庭及び本人に係る状況に当てはまるものがない。

学校種	区分	学校に係る状況	家庭に係る状況	本人に係る状況	左記に該当なし
小学校		210	221	988	78
中学校		582	236	1997	70

④指導の結果登校できるようになった児童生徒数 [不登校児童生徒数に占める割合]

- ・ 小学校 391人 [26%] (358人 [28%])
- ・ 中学校 784人 [27%] (680人 [27%])

⑤学校内外の専門家や機関等で相談・指導を受けた不登校児童生徒数

○ 学校内

- ・ スクールカウンセラー等 1,413人 [32%] (1,255人 [38%])
- ・ 養護教諭による専門的な指導 602人 [14%] (604人 [19%])

○ 学校外

- ・ 教育支援センター 410人 [9%] (388人 [10%])
- ・ 民間団体、民間施設 154人 [4%] (102人 [3%])
- ・ 病院・診療所 437人 [10%] (378人 [10%])

⑥学校外の機関等で相談・指導を受けた不登校児童生徒のうち「指導要録上出席扱い」となった人数と割合

- ・ 教育支援センター 343人 [84%] (309人 [80%])
- ・ 民間団体、民間施設 76人 [49%] (40人 [39%])

⑦教育支援センター（適応指導教室）の状況

- ・ 39カ所（38カ所）

(4) 高等学校の長期欠席の状況

①理由別長期欠席生徒数 ()内は昨年度的人数

※1年間に30日以上登校しなかった生徒の理由別の生徒数

※「新型コロナウイルスの感染回避」は、新型コロナウイルスの感染を回避するため、本人又は保護者の意思で出席しない者、及び医療的ケア児や基礎疾患児で登校すべきでない」と校長が判断した者

※「その他」は「病気」「経済的理由」「不登校」のいずれにも該当しないか、欠席理由が複数あり、主たる理由が特定できない者

	病気	経済的理由	不登校	不登校の内訳			新型コロナウイルスの感染回避	その他	合計
				うち90日以上欠席	うち出席日数10日以下	うち出席0日			
高等学校	210 (170)	1 (2)	874 (682)	185 (125)	20 (18)	3 (9)	21 (10)	482 (837)	1588 (1701)

②全生徒数に占める不登校生徒数の割合

- ・ 高等学校 2.36% (1.79%)

③不登校の要因

※主たる要因1つを選択。

※左記に該当なし・・・本人や保護者と話しても、学校、家庭及び本人に係る状況に当てはまるものがない。

区分	学校に係る状況	家庭に係る状況	本人に係る状況	左記に該当なし
高等学校	261	38	545	30

④指導の結果登校できるようになった生徒数〔不登校生徒数に占める割合〕

414人 [47%] (288人 [42%])

⑤学校内外の専門家や機関等で相談・指導を受けた不登校生徒数

- 577人 [66%] (483人 [71%])
 - 学校内
 - ・ スクールカウンセラー等 275人 [31%] (231人 [34%])
 - ・ 養護教諭による専門的な指導 239人 [27%] (151人 [22%])
 - 学校外
 - ・ 病院、診療所 142人 [16%] (140人 [21%])

(5) 中途退学等の状況

①中途退学者数	577人 (576人)
②在籍者に占める割合	1.6% (1.5%)
③中途退学の事由	
・ 学校生活・学業不適応	249人 [43%] (194人 [34%])
・ 進路変更	166人 [29%] (177人 [31%])
・ 経済的理由	2人 [0.3%] (2人 [0.3%])

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

